

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 082101) 情報リテラシーL(1) Information Literacy 教育学部に必要な情報リテラシー Literacy in Information	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 宮崎 英一	関連授業科目	特に無し	
	履修推奨科目	特に無し	
学習時間 (講義+演習) 90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 本講義は、教育学部学生が最低限必要と考えられるコンピュータ・リテラシーの習得を基礎におく。学部学生として基本的著作権，レポート・論文作成に必要なワードプロセッサや表計算の活用のみならず，プレゼンテーションツールの利用法・Webページの作成・登録方法も含めて学習することで，卒業論文作成・発表に必要なスキルを身につける。卒業後も学校教育現場において役立つ技術を養っていくものである。			
授業の目的 情報化の進む学校教育現場に対応しなければならない現実を踏まえ，教員に必要な最低限のコンピュータ操作能力，情報の収集・判断能力（著作権）を身に付ける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」（幅広いコミュニケーション能力）に対応）			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
・コンピュータの基本的な構成と機能を知り，操作ができること ・ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションを用いて，基本的な情報の処理ができること ・マルチメディアの特徴と利用方法を知ること。 ・マルチメディアの作成に関して、ソフトウェアを選択して，表現や発信ができること ・情報リテラシーをベースに伝達方法の特徴と利用方法を知ること ・インターネットにおける著作権を理解した上で、情報を収集，判断，処理し，発信ができること。			
成績評価の方法と基準 出席状況（学則等で認められた欠席を除く），各種提出物（講義内容により異なる）の内容を基に，受講態度を勘案し総合的に評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
学内における情報機器の使用法，及び次年度以降の教育・研究に必要な種々のアプリケーションソフトの基礎的な使用法の説明と実習を行っていく。さらに，自分のWebページを作成し学内での配信を行い情報発信の方法を身に付ける。 (1) PC教室の使用法，注意事項の解説 (2) 情報化社会に向けての著作権の注意点 (3) キー入力方法，タッチタイピング練習 (4) 電子メール送受信とそのソフトウェア (5) 本学図書館における情報検索に関して (6) 日本語ワードプロセッサソフト 文書作成・整形 (7) 表計算ソフト1 表計算ソフトの使用目的 (8) 表計算ソフト2 成績処理への応用 (9) 表計算ソフト3 グラフの作成 (10) データの統合 文書へのグラフ貼り付け (11) プレゼンテーションソフトの利用 (12) プレゼンテーション実習 ツールを使って各自が発表 (13) Webページのコンテンツ作製ツールの利用 サンプルページの作成 (14) ホームページのコンテンツ作製・登録 各自のWebページを作成 (15) 基礎的な電子黒板の使用法			
【自学自習に関するアドバイス】 (1) (2) (3) 授業で学んだ点を復習しコンピュータの基本的操作に慣れておく。 (4) 添付ファイルの送信等、実際のレポート提出に実用できるようにしておく。 (5) 論文検索等、実際のレポート提出に活用できるようにしておく。 (6) 簡単なレポートの作成ができるようにしておく。 (7) (8) (9) 自分でデータのグラフ化ができるようにしておく (10) 実際のレポートにこれらの機能を活用できるようにしておく (11) (12) (13) プレゼンテーションソフトの学習で学んだ事を生かしてプレゼンテーションを作成し、発表の準備をしておく。 (14) 自分のホームページに記載したい内容を予め考えておく。 (15) 電子黒板活用を考えておく。			

教科書・参考書等

文化系のためのコンピュータリテラシー 太田忠一編, サイエンス社
大学新入生のための情報リテラシー, 学術図書出版

購入の義務はありませんが以下を参考書として指定します。

久野靖, 佐藤義弘, 辰己丈夫, 中野由章監修: キーワードで学ぶ最新情報情報ト
ピックス2016, 日経BP社(2016) 1,296円(税込み) ISBN: 978-4-8222-9217-1

オフィスアワー 宮崎: 金曜日5時限目 8号館4F

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

入学時に総合情報センターから配布される学生用メールアドレス及びログインパスワードが必要なので, 授業開始
には必ず持参すること。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 082102) 情報リテラシーL(2) Information Literacy 教育学部に必要な情報リテラシー Literacy in Information	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 黒田 勉	関連授業科目	特に無し	
	履修推奨科目	特に無し	
学習時間 (講義+演習) 90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 本講義は、教育学部学生が最低限必要と考えられるコンピュータ・リテラシーの習得を基礎におく。学部学生として、レポート・論文作成に必要なワードプロセッサや表計算の活用のみならず、プレゼンテーションツールの利用法・Webページの作成・登録方法も含めて学習することで、卒業論文作成・発表に必要なスキルを身につける。卒業後も学校教育現場はもとより、ビジネスの分野にも役立つ技術を養っていくものである。			
授業の目的 情報化の進む社会や学校教育現場に対応しなければならない現実を踏まえ、社会人・教員に必要な最低限のコンピュータ操作能力、情報の収集・判断能力(情報リテラシー)を身に付ける(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」(幅広いコミュニケーション能力)に対応)。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
・コンピュータの基本的な構成と機能を知り、操作ができること ・ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションを用いて、基本的な情報の処理ができること ・マルチメディアの特徴と利用方法を知ること。 ・マルチメディアの作成に関して、ソフトウェアを選択して、表現や発信ができること ・インターネットを中心とした情報の伝達方法の特徴と利用方法を知ること ・インターネットにおける情報を収集、判断、処理し、発信ができること。			
成績評価の方法と基準 出席状況(学則等で認められた欠席を除く)、各種提出物(講義内容により異なるが、原則作成したファイルを所定のディレクトリに収納すること)の内容を基に、受講態度を勘案し総合的に評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
学内における情報機器の使用法、及び次年度以降の教育・研究に必要な種々のアプリケーションソフトの基礎的な使用法の説明と実習を行っていく。さらに、自分のWebページを作成し学内での配信を基に、公序良俗に反しない情報発信の方法を身に付ける。 (1) PC教室の使用法、注意事項の解説 (2) Webブラウジングソフトの使用法 (3) キー入力方法、タッチタイピング練習 (4) 電子メール送受信とそのソフトウェア (5) 本学図書館における情報検索に関して (6) 日本語ワードプロセッサソフト 文書作成・整形 (7) 表計算ソフト1 表計算ソフトの使用目的 (8) 表計算ソフト2 成績処理への応用 (9) 表計算ソフト3 グラフの作成 (10) データの統合 文書へのグラフ貼り付け (11) プレゼンテーションソフトの利用 (12) プレゼンテーション実習 ツールを使って各自が発表 (13) Webページのコンテンツ作製ツールの利用 サンプルページの作成 (14) ホームページのコンテンツ作製・登録 各自のWebページを作成 (15) 基礎的な電子黒板の使用法			
教科書・参考書等 購入の義務はありませんが以下を参考書として指定。 文化系のためのコンピュータリテラシー 太田忠一編, サイエンス社 久野靖, 佐藤義弘, 辰己丈夫, 中野由章監修:キーワードで学ぶ最新情報情報トピックス2016, 日経BP社(2016) 1,296円(税込み) ISBN: 978-4-8222-9217-1 その他, 各種市販図書も参考にできる。			
オフィスアワー 火曜日6コマ 8号館4F, または, 1F情報工学実験室			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 入学時に学生証と同時に総合情報センターから配布される学生用メールアカウント及びログインパスワードが必要なので、授業開始時には必ず持参すること。 質問等があるときは、事前に kuroda@ed.kagawa-u.ac.jp 宛に連絡されたし。			

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 082103) 情報リテラシーL(3) Information Literacy 教育学部に必要な情報リテラシー Literacy in Information	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期金3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 山田 貴志	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 (講義+演習) 90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 本授業は、教育学部学生が最低限必要と考えられるコンピュータ・リテラシーの習得を基礎におく。学部学生として、レポート・論文作成に必要なワードプロセッサや表計算の活用のみならず、プレゼンテーションツールの利用法・Webページの作成・登録方法も含めて学習することで、卒業論文作成・発表に必要なスキルを身につける。卒業後も学校教育現場はもとより、ビジネスの分野にも役立つ技術を養っていくものである。			
授業の目的 情報化の進む社会や学校教育現場に対応しなければならない現実を踏まえ、社会人・教員に必要な最低限のコンピュータ操作能力、情報の収集・判断能力（情報リテラシー）を身に付ける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」（幅広いコミュニケーション能力）に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 （工学部JABEE基準）
・コンピュータの基本的な構成と機能を知り、操作ができること。 ・ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションを用いて、基本的な情報の処理ができること。 ・マルチメディアの特徴と利用方法を知ること。 ・マルチメディアの作成に関して、ソフトウェアを選択して、表現や発信ができること。 ・インターネットを中心とした情報の伝達方法の特徴と利用方法を知ること。 ・インターネットにおける情報を収集、判断、処理し、発信ができること。			
成績評価の方法と基準 出席状況（学則等で認められた欠席を除く）、各種提出物（授業内容により異なる）の内容を基に、受講態度を勘案し総合的に評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
学内における情報機器の使用法、及び次年度以降の教育・研究に必要な種々のアプリケーションソフトの基礎的な使用法の説明と実習を行っていく。さらに、自分のWebページを作成し学内での配信を行い情報発信の方法を身に付ける。 (1) オリエンテーション (2) 本学図書館における情報検索に関して (3) 情報教育に関するグループ討論 (4) 電子メールの送受信 (5) ワードプロセッサの基本操作Ⅰ（文書の装飾） (6) ワードプロセッサの基本操作Ⅱ（罫線表の作成） (7) 表計算ソフトの基本操作Ⅰ（成績処理） (8) 表計算ソフトの基本操作Ⅱ（グラフの作成） (9) データの統合 文書へのグラフ貼り付け (10) 画像の編集（モザイク処理） (11) プレゼンテーションソフトの基本操作Ⅰ（スライド編集） (12) プレゼンテーションソフトの基本操作Ⅱ（3分間スピーチ） (13) ホームページの作成Ⅰ（リンクの挿入） (14) ホームページの作成Ⅱ（ファイル転送ソフトの使い方） (15) まとめ 【自学自習に関するアドバイス】 第2～4週 グループ討論が中心の授業になる。各自で感じたことや考えたことを整理して、発表するための準備が必要になる。 第5～10週 毎時、授業中に課題が出る。各自でアプリケーションソフトの基礎的な使用法などがわかりやすい参考書を準備すること。時間内に課題をこなすことができなかった場合は、時間外の作業を必要になる。 第11～12週 各自で「こよなく愛するもの」について、スライドを作成し、発表するための準備が必要になる。これは、画像の収集やレイアウトのイメージなど、第13～14週のホームページの作成につながる内容である。 第13～15週 各自で作成したホームページをサーバにアップロードし、全員で鑑賞会を行う。授業では、リンクの挿入やファイル転送ソフトの使い方などの説明が中心になる。具体的なホームページの内容と構成については、授業外に整理する必要がある。			
教科書・参考書等 久野靖, 佐藤義弘, 辰己丈夫, 中野由章監修:キーワードで学ぶ最新情報情報トピックス2016, 日経BP社(2016) 1,296円（税込み） ISBN：978-4-8222-9217-1			

オフィスアワー 金曜4時限目 8号館4階

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

入学時に総合情報センターから配布される学生用メールアドレス及びログインパスワードが必要なので、授業開始には必ず持参すること。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード：082201) 情報リテラシーJ(1) Information Literacy 情報リテラシー Information Literacy	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期火3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 米谷 雄介	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 (講義+演習) 90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 香川大学に入学する学生が、早期に身につけるべき情報リテラシーを学習するために、1年次生対象に開講される必修科目である。座学・演習を組み合わせ、実際にパソコンを操作しながら受講する実習形式の授業である。一部の回で、e-Learning形式での(時間・場所に拘らない)授業を実施する可能性がある。			
授業の目的 学内で提供される様々な情報サービス(香川大学Gmail等)を知ると同時に、ワープロ・表計算ソフト等の基本的なパソコンの利用技術のみならず、情報収集・分析を通じて、学内外の情報利用を適切に判断する能力やモラルに則って活用する能力を養う目的を持つ(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」(幅広いコミュニケーション能力)に対応)。また、学内外で広がるe-Learning形式の授業を理解する目的も、一部組み込む可能性がある。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 パソコンの基本的な機能を理解し、効率的に操作できる。 2 ウェブブラウザの機能を理解し、各種のネットワークサービスを利用できる。 3 メールの設定と送受信ができる。 4 ワードプロソフトを利用して、図や表を含めてレイアウトされた文書を作成できる。 5 表計算ソフトを利用して、基本的な集計とグラフの作成ができる。 6 プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや配布資料を作成できる。 7 インターネットや大学の共同利用パソコンを利用する際のルールとマナーを理解する。 8 ネットワークの脅威と基本的な対策を理解する。 9 インターネット上の情報を検索する手段と、収集した情報の質の問題を理解する。 10 香川大学図書館利用のマナーを理解し、図書館所蔵の図書・雑誌を検索できる。 11 コンピューターとネットワークに関する基本的な概念と用語を理解する。			
成績評価の方法と基準 期末試験は実施しない。授業時間内に取り組む演習課題の回答(レポート内容)により総合判定を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
基本的に対面で授業を実施するが、一部の回の受講は、インターネットに接続できる端末からLMS(Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる可能性がある。この場合、出席確認も兼ねて各回毎に理解度を判定するレポートを課すことになる。			
1 各学内システムの認証などの概要説明 2 コンピュータ・ファイルの基本操作 3 メールの基本操作 4 文書作成1(Wordの基本操作) 5 文書作成2(Wordの応用操作) 6 表計算1(Excelの基本操作) 7 表計算2(Excelの応用操作) 8 画像編集 9 プレゼンテーション1(PowerPointの基本操作) 10 プレゼンテーション2(PowerPointの応用操作) 11 ハードウェアに関する基礎知識 12 ネットワークに関する基礎知識 13 情報セキュリティ 14 個人情報保護 15 総合演習(各回の演習のまとめ)			
ただし、上記の内容は変更する可能性がある。			
【自学自習に関するアドバイス】			
教科書は、キーワードから内容を逆引きする形になっていますので、授業で出てくる分からないキーワードに対し、事前・事後にその内容を確認し、授業の理解度を深めるよう心掛けてください。			

教科書・参考書等

以下の教科書に加え、授業毎に追加資料(PDF)をダウンロード配布する。なお、初回授業時に追加の授業資料入手方法について説明する。

【教科書】久野靖、佐藤義弘、辰己丈夫、中野由章 監修, “キーワードで学ぶ最新情報トピックス2019”, 日経BP社, B5判, 約200ページ, 1,296円(税込)

オフィスアワー 時間: 火曜日18:00-19:00

場所: 総合情報センター1F事務室

※質問等がある場合は、事務室の窓口を通じて、担当教員に照会すること。センター事務室の窓口業務終了後(17:15以降)も呼び鈴で対応可。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

大学からの事務連絡をメールや履修登録システムから知る術を学ぶ等、これからの大学生活にとって、とても大切な授業となります。成績も授業で出題されるレポート課題で決まるため、必ず出席してください。なお、教室は図書館内にあるため、他の利用者の迷惑とならないよう、静粛に入退室願います。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2	科目区分	時間割	対象年次及び学科
授業科目名 (時間割コード: 082202)	情報リテラシー	前期火4	1～全学共通科目
情報リテラシーJ(2)	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
Information Literacy			
情報リテラシー	授業形態 Lx	単位数 2	
Information Literacy			
担当教員名 米谷 雄介	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 (講義+演習) 90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 香川大学に入学する学生が、早期に身につけるべき情報リテラシーを学習するために、1年次生対象に開講される必修科目である。座学・演習を組み合わせ、実際にパソコンを操作しながら受講する実習形式の授業である。一部の回で、e-Learning形式での(時間・場所に拘らない)授業を実施する可能性がある。			
授業の目的 学内で提供される様々な情報サービス(香川大学Gmail等)を知ると同時に、ワープロ・表計算ソフト等の基本的なパソコンの利用技術のみならず、情報収集・分析を通じて、学内外の情報利用を適切に判断する能力やモラルに則って活用する能力を養う目的を持つ(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」(幅広いコミュニケーション能力)に対応)。また、学内外で広がるe-Learning形式の授業を理解する目的も、一部組み込む可能性がある。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 パソコンの基本的な機能を理解し、効率的に操作できる。 2 ウェブブラウザの機能を理解し、各種のネットワークサービスを利用できる。 3 メールの設定と送受信ができる。 4 ワードプロソフトを利用して、図や表を含めてレイアウトされた文書を作成できる。 5 表計算ソフトを利用して、基本的な集計とグラフの作成ができる。 6 プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや配布資料を作成できる。 7 インターネットや大学の共同利用パソコンを利用する際のルールとマナーを理解する。 8 ネットワークの脅威と基本的な対策を理解する。 9 インターネット上の情報を検索する手段と、収集した情報の質の問題を理解する。 10 香川大学図書館利用のマナーを理解し、図書館所蔵の図書・雑誌を検索できる。 11 コンピューターとネットワークに関する基本的な概念と用語を理解する。			
成績評価の方法と基準 期末試験は実施しない。授業時間内に取り組む演習課題の回答(レポート内容)により総合判定を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
基本的に対面で授業を実施するが、一部の回の受講は、インターネットに接続できる端末からLMS(Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる可能性がある。この場合、出席確認も兼ねて各回毎に理解度を判定するレポートを課すことになる。			
1	各学内システムの認証などの概要説明		
2	コンピュータ・ファイルの基本操作		
3	メールの基本操作		
4	文書作成1(Wordの基本操作)		
5	文書作成2(Wordの応用操作)		
6	表計算1(Excelの基本操作)		
7	表計算2(Excelの応用操作)		
8	画像編集		
9	プレゼンテーション1(PowerPointの基本操作)		
10	プレゼンテーション2(PowerPointの応用操作)		
11	ハードウェアに関する基礎知識		
12	ネットワークに関する基礎知識		
13	情報セキュリティ		
14	個人情報保護		
15	総合演習(各回の演習のまとめ)		
ただし、上記の内容は変更する可能性がある。			
【自学自習に関するアドバイス】			
教科書は、キーワードから内容を逆引きする形になっていますので、授業で出てくる分からないキーワードに対し、事前・事後にその内容を確認し、授業の理解度を深めるよう心掛けてください。			

教科書・参考書等

以下の教科書に加え、授業毎に追加資料(PDF)をダウンロード配布する。なお、初回授業時に追加の授業資料入手方法について説明する。

【教科書】久野靖、佐藤義弘、辰己丈夫、中野由章 監修, “キーワードで学ぶ最新情報トピックス2019”, 日経BP社, B5判, 約200ページ, 1,296円(税込)

オフィスアワー 時間: 火曜日18:00-19:00

場所: 総合情報センター1F事務室

※質問等がある場合は、事務室の窓口を通じて、担当教員に照会すること。センター事務室の窓口業務終了後(17:15以降)も呼び鈴で対応可。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

大学からの事務連絡をメールや履修登録システムから知る術を学ぶ等、これからの大学生活にとって、とても大切な授業となります。成績も授業で出題されるレポート課題で決まるため、必ず出席してください。なお、教室は図書館内にあるため、他の利用者の迷惑とならないよう、静粛に入退室願います。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード：082301) 情報リテラシーE(1) Information Literacy 情報リテラシー E(1) Information Literacy	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期水3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 金澤 忠信 他	関連授業科目 受講するために必要な関連授業科目はないが、この授業の内容は多数の講義で履修が前提とされる。		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回＋自学自習			
授業の概要 経済学部1年生を対象とし、早期に身につけるべき情報リテラシーの講義をする。情報リテラシーとは、コンピューターが使えるというだけではなく、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力、それらをモラルに則って活用する能力のことである。入学前にすでにある程度の情報リテラシーを身に付けている学生が少なくないという現状を踏まえ、この授業でその内容を点検し、不足している部分を補うことによって、全受講生が授業の達成目標をクリアすることを目指す。必修科目であるので必ず受講すること。			
授業の目的 コンピューターの基本的な操作、学内で提供される情報サービス（香川大学Gmail、Moodle等）、各種ソフトウェア（ワープロ、表計算、プレゼンテーション等）の利用技術を身につける。 情報を収集して適正に選択し、利用するための基礎的な技能を習得する（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」（幅広いコミュニケーション能力）に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 パソコンの基本的な機能を理解し、効率的に操作できる。 2 ウェブブラウザの機能を理解し、各種のネットワークサービスを利用できる。 3 メールの設定と送受信ができる。 4 ワードプロソフトを利用して、図や表を挿入したレポートや論文を作成できる。 5 表計算ソフトを利用して、基本的な集計とグラフの作成ができる。 6 プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや配布資料を作成できる。 7 インターネットや大学の共同利用パソコンを利用する際のルールとマナーを理解する。 8 ネットワークの脅威と基本的な対策を理解する。 9 インターネット上の情報を検索する手段と、収集した情報の質の問題を理解する。 10 香川大学図書館利用のマナーを理解し、図書館所蔵の図書・雑誌を検索できる。 11 コンピューターとネットワークに関する基本的な概念と用語を理解する。			
成績評価の方法と基準 受講態度、授業中に課す課題、中間テスト、総合テストで総合的に評価する。 期末試験は行わない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業の方法】 基本的に、総合情報センター PCルームC1・C2において、講義と実習を行う。			
【授業計画】 第 1回 概要説明・基本操作・香川大学Moodle 第 2回 香川大学での情報活用（メール、情報検索、文献検索） 第 3回 ワードプロソフトの基本 第 4回 表計算ソフトの基本 第 5回 情報倫理・セキュリティ 第 6回 中間テスト 第 7～ 8回 ワードプロソフトの活用（レポートの作成等） 第 9～10回 表計算ソフトの活用（情報の分析） 第11～12回 プレゼンテーションソフトの基本・活用 第13回 コンピューター・ネットワークの基礎知識・情報倫理・セキュリティ 第14回 アプリケーションの連携 第15回 総合テスト			
【自学自習に関するアドバイス】 授業内容や参考資料を「香川大学Moodle」で提供するので、必ず目を通して予習・復習すること。また、分からないことは積極的に質問して復習すること。			

教科書・参考書等

教科書

『情報リテラシー＜改訂版＞（Windows10 Office 2016対応）』FOM出版、2018年3月7日
2,000円（税別）、ISBN 978-4-86510-344-1

参考書等

Maruzen eBook Library（<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/Top>）
学術書籍に特化した電子書籍配信サービス

オフィスアワー 平日13:30～15:00まで経済学部共同研究室（交友会館2階）で対応する。その他にも時間が許す限り受け付ける。なお、質問等は電子メール（jkisoec@ec.kagawa-u.ac.jp）でも受け付ける。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

この授業は1年生の必修科目である。単位が取得できない場合は、再履修を要する。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード：082302) 情報リテラシーE(2) Information Literacy 情報リテラシー E(2) Information Literacy	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期水4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 金澤 忠信 他	関連授業科目 受講するために必要な関連授業科目はないが、この授業の内容は多数の講義で履修が前提とされる。		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回＋自学自習			
授業の概要 経済学部1年生を対象とし、早期に身につけるべき情報リテラシーの講義をする。情報リテラシーとは、コンピューターが使えるというだけではなく、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力、それらをモラルに則って活用する能力のことである。入学前にすでにある程度の情報リテラシーを身に付けている学生が少なくないという現状を踏まえ、この授業でその内容を点検し、不足している部分を補うことによって、全受講生が授業の達成目標をクリアすることを目指す。必修科目であるので必ず受講すること。			
授業の目的 コンピューターの基本的な操作、学内で提供される情報サービス（香川大学Gmail、Moodle等）、各種ソフトウェア（ワープロ、表計算、プレゼンテーション等）の利用技術を身につける。 情報を収集して適正に選択し、利用するための基礎的な技能を習得する（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」（幅広いコミュニケーション能力）に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 パソコンの基本的な機能を理解し、効率的に操作できる。 2 ウェブブラウザの機能を理解し、各種のネットワークサービスを利用できる。 3 メールの設定と送受信ができる。 4 ワードプロソフトを利用して、図や表を挿入したレポートや論文を作成できる。 5 表計算ソフトを利用して、基本的な集計とグラフの作成ができる。 6 プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや配布資料を作成できる。 7 インターネットや大学の共同利用パソコンを利用する際のルールとマナーを理解する。 8 ネットワークの脅威と基本的な対策を理解する。 9 インターネット上の情報を検索する手段と、収集した情報の質の問題を理解する。 10 香川大学図書館利用のマナーを理解し、図書館所蔵の図書・雑誌を検索できる。 11 コンピューターとネットワークに関する基本的な概念と用語を理解する。			
成績評価の方法と基準 受講態度、授業中に課す課題、中間テスト、総合テストで総合的に評価する。 期末試験は行わない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業の方法】 基本的に、総合情報センター PCルームC1・C2において、講義と実習を行う。			
【授業計画】 第 1回 概要説明・基本操作・香川大学Moodle 第 2回 香川大学での情報活用（メール、情報検索、文献検索） 第 3回 ワードプロソフトの基本 第 4回 表計算ソフトの基本 第 5回 情報倫理・セキュリティ 第 6回 中間テスト 第 7～ 8回 ワードプロソフトの活用（レポートの作成等） 第 9～10回 表計算ソフトの活用（情報の分析） 第11～12回 プレゼンテーションソフトの基本・活用 第13回 コンピューター・ネットワークの基礎知識・情報倫理・セキュリティ 第14回 アプリケーションの連携 第15回 総合テスト			
【自学自習に関するアドバイス】 授業内容や参考資料を「香川大学Moodle」で提供するので、必ず目を通して予習・復習すること。また、分からないことは積極的に質問して復習すること。			

教科書・参考書等

教科書

『情報リテラシー＜改訂版＞（Windows10 Office 2016対応）』FOM出版、2018年3月7日
2,000円（税別）、ISBN 978-4-86510-344-1

参考書等

Maruzen eBook Library（<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/Top>）
学術書籍に特化した電子書籍配信サービス

オフィスアワー 平日13:30～15:00まで経済学部共同研究室（交友会館2階）で対応する。その他にも時間が許す限り受け付ける。なお、質問等は電子メール（jkisoec@ec.kagawa-u.ac.jp）でも受け付ける。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

この授業は1年生の必修科目である。単位が取得できない場合は、再履修を要する。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード：082303) 情報リテラシーE(3) Information Literacy 情報リテラシー E(3) Information Literacy	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期金3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 金澤 忠信 他	関連授業科目 受講するために必要な関連授業科目はないが、この授業の内容は多数の講義で履修が前提とされる。		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回＋自学自習			
授業の概要 経済学部1年生を対象とし、早期に身につけるべき情報リテラシーの講義をする。情報リテラシーとは、コンピューターが使えるというだけではなく、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力、それらをモラルに則って活用する能力のことである。入学前にすでにある程度の情報リテラシーを身に付けている学生が少なくないという現状を踏まえ、この授業でその内容を点検し、不足している部分を補うことによって、全受講生が授業の達成目標をクリアすることを目指す。必修科目であるので必ず受講すること。			
授業の目的 コンピューターの基本的な操作、学内で提供される情報サービス（香川大学Gmail、Moodle等）、各種ソフトウェア（ワープロ、表計算、プレゼンテーション等）の利用技術を身につける。 情報を収集して適正に選択し、利用するための基礎的な技能を習得する（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」（幅広いコミュニケーション能力）に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 パソコンの基本的な機能を理解し、効率的に操作できる。 2 ウェブブラウザの機能を理解し、各種のネットワークサービスを利用できる。 3 メールの設定と送受信ができる。 4 ワードプロソフトを利用して、図や表を挿入したレポートや論文を作成できる。 5 表計算ソフトを利用して、基本的な集計とグラフの作成ができる。 6 プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや配布資料を作成できる。 7 インターネットや大学の共同利用パソコンを利用する際のルールとマナーを理解する。 8 ネットワークの脅威と基本的な対策を理解する。 9 インターネット上の情報を検索する手段と、収集した情報の質の問題を理解する。 10 香川大学図書館利用のマナーを理解し、図書館所蔵の図書・雑誌を検索できる。 11 コンピューターとネットワークに関する基本的な概念と用語を理解する。			
成績評価の方法と基準 受講態度、授業中に課す課題、中間テスト、総合テストで総合的に評価する。 期末試験は行わない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業の方法】 基本的に、総合情報センター PCルームC1・C2において、講義と実習を行う。			
【授業計画】 第 1回 概要説明・基本操作・香川大学Moodle 第 2回 香川大学での情報活用（メール、情報検索、文献検索） 第 3回 ワードプロソフトの基本 第 4回 表計算ソフトの基本 第 5回 情報倫理・セキュリティ 第 6回 中間テスト 第 7～ 8回 ワードプロソフトの活用（レポートの作成等） 第 9～10回 表計算ソフトの活用（情報の分析） 第11～12回 プレゼンテーションソフトの基本・活用 第13回 コンピューター・ネットワークの基礎知識・情報倫理・セキュリティ 第14回 アプリケーションの連携 第15回 総合テスト			
【自学自習に関するアドバイス】 授業内容や参考資料を「香川大学Moodle」で提供するので、必ず目を通して予習・復習すること。また、分からないことは積極的に質問して復習すること。			

教科書・参考書等

教科書

『情報リテラシー＜改訂版＞（Windows10 Office 2016対応）』FOM出版、2018年3月7日
2,000円（税別）、ISBN 978-4-86510-344-1

参考書等

Maruzen eBook Library（<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/Top>）
学術書籍に特化した電子書籍配信サービス

オフィスアワー 平日13:30～15:00まで経済学部共同研究室（交友会館2階）で対応する。その他にも時間が許す限り受け付ける。なお、質問等は電子メール（jkisoec@ec.kagawa-u.ac.jp）でも受け付ける。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

この授業は1年生の必修科目である。単位が取得できない場合は、再履修を要する。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード：082304) 情報リテラシーE(4) Information Literacy 情報リテラシー E(4) Information Literacy	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 金澤 忠信 他	関連授業科目 受講するために必要な関連授業科目はないが、この授業の内容は多数の講義で履修が前提とされる。		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回＋自学自習			
授業の概要 経済学部1年生を対象とし、早期に身につけるべき情報リテラシーの講義をする。情報リテラシーとは、コンピューターが使えるというだけではなく、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力、それらをモラルに則って活用する能力のことである。入学前にすでにある程度の情報リテラシーを身に付けている学生が少なくないという現状を踏まえ、この授業でその内容を点検し、不足している部分を補うことによって、全受講生が授業の達成目標をクリアすることを目指す。必修科目であるので必ず受講すること。			
授業の目的 コンピューターの基本的な操作、学内で提供される情報サービス（香川大学Gmail、Moodle等）、各種ソフトウェア（ワープロ、表計算、プレゼンテーション等）の利用技術を身につける。 情報を収集して適正に選択し、利用するための基礎的な技能を習得する（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」（幅広いコミュニケーション能力）に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 パソコンの基本的な機能を理解し、効率的に操作できる。 2 ウェブブラウザの機能を理解し、各種のネットワークサービスを利用できる。 3 メールの設定と送受信ができる。 4 ワードプロソフトを利用して、図や表を挿入したレポートや論文を作成できる。 5 表計算ソフトを利用して、基本的な集計とグラフの作成ができる。 6 プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや配布資料を作成できる。 7 インターネットや大学の共同利用パソコンを利用する際のルールとマナーを理解する。 8 ネットワークの脅威と基本的な対策を理解する。 9 インターネット上の情報を検索する手段と、収集した情報の質の問題を理解する。 10 香川大学図書館利用のマナーを理解し、図書館所蔵の図書・雑誌を検索できる。 11 コンピューターとネットワークに関する基本的な概念と用語を理解する。			
成績評価の方法と基準 受講態度、授業中に課す課題、中間テスト、総合テストで総合的に評価する。 期末試験は行わない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業の方法】 基本的に、総合情報センター PCルームC1・C2において、講義と実習を行う。			
【授業計画】 第 1回 概要説明・基本操作・香川大学Moodle 第 2回 香川大学での情報活用（メール、情報検索、文献検索） 第 3回 ワードプロソフトの基本 第 4回 表計算ソフトの基本 第 5回 情報倫理・セキュリティ 第 6回 中間テスト 第 7～ 8回 ワードプロソフトの活用（レポートの作成等） 第 9～10回 表計算ソフトの活用（情報の分析） 第11～12回 プレゼンテーションソフトの基本・活用 第13回 コンピューター・ネットワークの基礎知識・情報倫理・セキュリティ 第14回 アプリケーションの連携 第15回 総合テスト			
【自学自習に関するアドバイス】 授業内容や参考資料を「香川大学Moodle」で提供するので、必ず目を通して予習・復習すること。また、分からないことは積極的に質問して復習すること。			

教科書・参考書等

教科書

『情報リテラシー＜改訂版＞（Windows10 Office 2016対応）』FOM出版、2018年3月7日
2,000円（税別）、ISBN 978-4-86510-344-1

参考書等

Maruzen eBook Library （ <https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/Top> ）
学術書籍に特化した電子書籍配信サービス

オフィスアワー 平日13:30～15:00まで経済学部共同研究室（交友会館2階）で対応する。その他にも時間が許す限り受け付ける。なお、質問等は電子メール（jkisoec@ec.kagawa-u.ac.jp）でも受け付ける。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

この授業は1年生の必修科目である。単位が取得できない場合は、再履修を要する。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード：082401) 情報リテラシーM(1) Information Literacy 情報リテラシー (Information literacy)	科目区分 情報リテラシー	時間割 後期水4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 横井 英人 他	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回＋自学時間			
授業の概要 本科目は、香川大学に入学する全学生が、早期に身につけるべき情報リテラシーを学習するために、1年次生対象に開講される必修科目で、座学・演習を組み合わせた授業である。情報リテラシーとは、パーソナルコンピュータ(PC)が使えるというだけでなく、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力、それらをモラルに則って活用する能力のことである。(指導協力：四国職業能力開発大学校)			
授業の目的 電子カルテシステムをはじめとする様々な病院情報システムの利用, 医療機器の制御, 医療データの解析, 論文執筆, 学会発表の準備などを効率的に行うため、PCを操作する能力は、医師にとって非常に重要である。本授業は、今後の人生に密接に関係する、情報処理技術の必要最低限の知識を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」（幅広いコミュニケーション能力）に対応）ことを目的とする。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. パソコンの基本的な機能を理解し、効率的に操作できる。 2. Webブラウザの機能を理解し、各種ネットワークサービスを利用できる。 3. メールの設定と送受信ができる。 4. ワードプロを利用して、図や表を含めてレイアウトされた文書を作成できる。 5. 表計算ソフトを利用して、基本的な集計とグラフの作成ができる。 6. プレゼンテーションソフトを用いて、スライドや配布資料を作成できる。 7. インターネットや大学の共同利用パソコンを利用する際のルールとマナーを理解する。 8. ネットワークの脅威と基本的な対策を理解する。 9. インターネット場の情報を検索する手段と収集した情報の質の問題を理解する。 10. 香川大学図書館利用のマナーを理解し、図書館所蔵の図書・雑誌を検索できる。 11. コンピュータとネットワークに関する基本的な概念と用語を理解する。			
成績評価の方法と基準 出席状況30%、授業で行う課題30%、レポート40%などにより総合的に評価する。全授業回数の3分の2以上の出席は必須。これらの総合評価により60%で合格とする。			
当たり前のことだが、課題やレポートで電子ファイルを提出する際、他人の電子ファイルをコピーして提出したら、カンニングと見なし不合格とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業の方法】 各人がPCを実際に使いながら、演習形式の授業を行う。			
【授業計画】 1. ガイダンス（授業の目的・計画） 2. インターネットの活用 3. ネットワークの脅威 4. 情報セキュリティ 5. わたし達が生きる情報社会 6. 情報やメディアに関する技術 7. 報告書作成 8. 実験データ分析Ⅰ 9. 実験データ分析Ⅱ 10. 発表用資料作成 11. ネットワークやインターネット技術 12. ハードウェアに関わる技術 13. ソフトウェアに関わる技術 14. コンピュータの歴史と現代のICT業界 15. まとめ			
【自学自習に関するアドバイス】 各授業で行った演習内容に関しては、必ず同じことを最低1回は行い、復習しておくこと。			

教科書・参考書等

【参考書】大学新入生のための情報リテラシー，香川大学総合情報センター編 堀幸雄・高久雅生・村井源・宮崎英一・黒田勉・寺中正人・高木智彦・大槻明・川村雅義・林敏浩・八重樫理人・長尾敦史・北條充敏・横井英人・今井慈郎，学術図書出版社，2014年，1,944円(税込)，ISBN：978-4-7806-0389-7

【参考書】キーワードで学ぶ最新情報トピックス2019，久野靖・佐藤義弘・辰己丈夫・中野由章，日経BP社，2019年，1,404円(税込)，ISBN：978-4-8222-9234-8

オフィスアワー あらかじめメールや電話でアポイントを取れば、適宜対応する。
詳細は、第1回目のガイダンスで指示する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

統合認証システム(LDAP)のユーザIDとパスワードは必ず確認しておくこと。

(問合せ先：総合情報センターまたは医学部学務課教務係)

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード：082402) 情報リテラシーM(2) Information Literacy 情報リテラシー Information literacy	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期水4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 藤井 豊, 筒井 邦彦, 野口 修司, 川人 潤子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義、演習90分×15回+自習学習			
授業の概要 【注意事項】当科目は医学部看護学科生、臨床心理学科生の必修科目です。 【概要】本科目は、香川大学に入学する全学生が早期に身につけるべき情報リテラシーを学習するために1年次生対象に開講される必修科目で、講義と一部演習を組み合わせた授業です。情報リテラシーとは、コンピュータが使えるというだけではなく、その技術を利用してさまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力とそれらをモラルに則って活用する能力のことです。入学前に高校の教科「情報」などすでに情報リテラシーを身に付けている学生が少なくないですが、この授業でその内容を点検し、不足している部分を補うことによって、全学生が授業の達成目標をクリアすることを目指します。			
授業の目的 現代の情報化社会に生きる我々にとって情報活用能力は非常に重要である。そのため、情報伝達に関わる問題を理解するとともに、情報の適正な選択、利用のための基礎的な技能、マナーを習得する（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」（幅広いコミュニケーション能力）に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. パソコンの基本的な機能を理解し、目的に則して効率的に使用できる。 2. 正しいメール文面の作成ができた上で、メールの設定と送受信ができる。 3. 基本ソフトを利用してレイアウトされた文書の作成、集計とグラフの作成、スライドや配布資料、画像の作成ができる。 4. インターネットや大学の共同利用パソコンを利用する際のルールとマナーを理解し、基本的なセキュリティ対策を立てることができる。 5. 目的にあったインターネット上の情報を検索した上で、質の良い情報を選別、統合できる。			
成績評価の方法と基準 出席・受講状況40%、提出物50%、プレゼンテーション等により、総合的に評価を行う（受講態度がひどい場合、実習室使用規定を守らない場合等は退出を命じることがある）。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
医学部マルチメディア実習室の情報機器を使用する。講義、演習後課題を提出する。 第1回 情報機器操作時の基本的な注意点、図書館での情報収集、香川大学のコンピュータ・ネットワークサービスの概要 第2回 電子メール（学内メールの設定、転送設定、メールの仕組み等） 第3回 コンピュータとWindowsの基礎（ハードウェア、ソフトウェア、CPU、デスクトップの構成、ウィンドウの操作、フォルダーとファイルの操作、日本語入力、設定変更等） 第4回 ネットワークの基礎（通信プロトコル、インターネット、TCP/IP、ホスト名、ドメイン名、ファイル転送） 第5回 Webの利用（WWW、HTTP、URL、Website、Webブラウザ、検索エンジン、ポータルサイト、プロバイダ等） 第6回 さまざまなWebサービスと法律（Web上の音声、動画サービスと扱い方、フリーウェア、ネットワーク関連の法律、個人情報保護法、著作権法） 第7回 コンピュータのセキュリティ（不正アクセス、ネット犯罪、匿名性、マルウェア、ファイル共有ソフト、セキュリティ対策、暗号化等） 第8回 さまざまなファイルの扱い方（ファイル圧縮、画像ファイル、音声・動画ファイル、ディスクイメージ、CSVファイル、バックアップ） 第9回 Power point(1)Office概要、基本的な入力方法 第10回 Power point(2)図表の作成、応用的な入力によるスライド作成 第11回 Power point(3)Webからの情報収集による資料作成 第12回 Word(1)概要、文字入力を中心とした基本的な入力 第13回 Word(2)図の挿入、レポートの作成、案内状等の作成 第14回 Excelの概要、データの打ち込み方、グラフの作成 第15回 画像編集ソフトの扱い方			
【自習学習に関するアドバイス】まずはマルチメディア自習室や自身のコンピュータに触れてほしい。授業計画を見て自分の苦手な所を把握し、基本的な事柄は事前に理解しておくこと。週を重ねるごとにそれまでに修得したことの応用が必要となるため、わからないまま放置しないこと。			

教科書・参考書等

医学部マルチメディア実習室PCはWindows10、Office2016です。

参考文献を含め購入の義務はありませんが、上記に関わる書籍等を参考にしてください。

参考文献 情報トビックス2019 日経BP社（2019年1月に出版予定と思われる）

オフィスアワー この科目終了後、マルチメディア実習室で。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

入学時に総合情報基盤センターから配布される学生用メールアドレス、ログインパスワードが必要。毎回必ず持参のこと。マルチメディア実習室内は飲食禁である。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード：082501) 情報リテラシーT(1) Information Literacy 情報リテラシー Information Literacy	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期水5	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 林 敏浩, 後藤田 中	関連授業科目	大学入門ゼミ、計算機入門	
	履修推奨科目		
学習時間 (講義+演習) 90分× 15回+ 〔学〕習			
授業の概要 香川学に入学する学生が、早期に身につけるべき情報リテラシーを学習するために、1年次生対象に開講される必修科目である。情報リテラシーとは、コンピューターが使えるというだけではなく、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力、それらをモラルに則って活用する能力のことである。座学・演習を組み合わせ、創造工学部学生必携のノート型パーソナルコンピュータ（ノートPC）などを操作しながら受講する実習形式の授業である。			
授業の目的 現在、コンピュータやネットワーク（IT技術）は、社会の基盤として活用されている。すなわち、簡単な文書作成だけでなく、いろいろな設計情報やデータの整理、報告書の作成をコンピュータで行っている。また、メールやメッセージャー、Webシステムによって人との間のコミュニケーションにIT技術が用いられている。そこで、IT技術の基礎的な知識や利用方法を習得することを目標とする。（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」（幅広いコミュニケーション能力）に対応）			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. パソコンの基本的な機能を理解し、効率的に操作できる。 2. ウェブブラウザの機能を理解し、各種のネットワークサービスを利?できる。 3. メールの設定と送受信ができる。 4. ワードプロソフトを利用して、図や表を挿入したレポートや論文を作成できる。 5. 表計算ソフトを利用して、基本的な集計とグラフの作成ができる。 6. プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや配布資料を作成できる。 7. インターネットや大学の共同利用パソコンを利用する際のルールとマナーを理解する。 8. ネットワークの脅威と基本的な対策を理解する。 9. インターネット上の情報を検索する手段と、収集した情報の質の問題を理解する。 10. コンピューターとネットワークに関する基本的な概念と用語を理解する。			
成績評価の方法と基準 毎回の課題20点（満点）×15回の合計の1/3で評価する。期末テストは実施しない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業の方法】 各自のノートPCを利用した演習を含む講義を行う。			
【授業計画】 第1回：受講ガイダンス、Windowsの基本操作、文書作成のための基本操作 第2回：文書作成：表の作成 第3回：文書作成：書式の設定 第4回：文書作成：図・画像などの挿入 第5回：文書作成：アウトラインの設定 第6回：表計算：表の作成と基本編集 第7回：表計算：表の書式設定と印刷 第8回：表計算：数式（1）絶対参照と相対参照、基本関数、順位取得、条件判断 第9回：表計算：数式（2）表参照によるデータ取得、端数処理、エラー回避、文字列操作 第10回：表計算：グラフと図形、 第11回：表計算：データベース機能、ソフトウェア間のデータ連係 第12回：プレゼンテーション：基本操作と印刷、図やオブジェクトの挿入 第13回：プレゼンテーション：SmartArt、グラフ、表の挿入 第14回：プレゼンテーション：特殊効果と自動実行、ソフトウェア間のデータ連係 第15回：情報社会の歩き方：情報セキュリティ、情報モラルなど			
【自学自習に関するアドバイス】 各種ソフトウェアは「習うより慣れろ」ということで習った内容は、自分のノートPCを用いて自学自習や他の科目の課題などで積極的に使ってください。また、香川大学図書館 eBookLibraryに、情報リテラシーに関する電子図書が充実しているのでそれらも積極的に利活用ください。			

教科書・参考書等

【教科書】

「情報リテラシーOffice 2016 (30時間アカデミック)」杉本くみ子, 大澤栄子 (著)、実教出版 (2016)、定価: 1,404 円、ISBN: 978-4-407-34023-5

※冊子購入を推奨するが、香川大学図書館eBookLibraryで、電子図書として閲覧、ページのダウンロード・印刷ができるので、購入しない場合はあらかじめダウンロードしておくこと (eBookLibraryは第1回で説明する)。

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

オフィスアワー 日時: 金曜1時限目

場所: 幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室

不在時は電子メール(hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

演習主体の講義のため、ノートPCや周辺機器など必要機器は忘れず持参してください。また、無断欠席や演習課題の未提出がないように履修してください。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 082502) 情報リテラシーT(2) Information Literacy 情報リテラシー (information literacy)	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期水3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 石塚 正秀, 玉置 哲也, 荒木 裕行	関連授業科目 プログラミング(創造工学部基礎科目)をはじめ、関連する授業科目は多岐にわたる。		
	履修推奨科目		
学習時間 演習90分×15回+自学自習			
授業の概要 香川大学に入学した学生が早期に身につけるべき情報リテラシーを学習するために、1年次生対象に開講される必修科目で、座学・演習を組み合わせた授業である。			
授業の目的 本授業の目的は、単にコンピュータが操作できる(DPの「言語運用能力」に対応)ということにとどまらず、プリンタ等の周辺機器を含めた技術を利用して、さまざまな情報を収集、分析または発信し、適切に判断する能力(DPの「問題解決・課題探求能力」に対応)、また、それらを法規・モラルに即して活用する能力(DPの「倫理観・社会的責任」に対応)を総合的に身につけることである。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. パソコンの基本的な機能を理解し、効率的に操作できる。 2. ウェブブラウザの機能を理解し、種々のネットワークサービスが活用できる。 3. 電子メールの設定、送受信ができる。 4. インターネットや学内機器を利用する際のルールとマナーがわかっている。 5. ネットワークの脅威とその基本的な対策がわかっている。 6. インターネット上には様々な質の情報があることを踏まえ、情報を適切に検索できる。 7. 香川大学附属図書館利用のマナーを理解し、所蔵の図書・雑誌等を検索できる。 8. 文書作成ソフトを利用し、図表を含めレイアウトされた文書を作成できる。 9. 表計算ソフトを利用して、基本的な計算・集計とグラフの作成ができる。 10. プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや配布資料を作成できる。 11. コンピュータとネットワークに関する基本的な概念と用語の意味をわかっている。			
成績評価の方法と基準 期末試験は行わない。授業中に課せられる課題(宿題も含む)により評価する。ただし、出席状況および授業中の態度を評価に加味し、欠席や遅刻が多い場合や課題等に取り組む姿勢が芳しくない場合は減点対象とする。この結果、欠席や遅刻が重なると単位が認められなくなる場合もあるので注意すること。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業計画】 第1週: ネットワーク(1)(香川大学web mail)、授業ガイダンス 第2週: ネットワーク(2)(香川大学のサーバ・図書館HPの利用) 第3週: ネットワーク(3)(香川大学のネットワークプリンタ) 第4週: ネットワーク(4)(情報トピックス(1): ネットワークやインターネットに関わる技術) 第5週: ネットワーク(5)(情報トピックス(2): 情報倫理とセキュリティ) 第6週: 表計算(1)(Excelの概要、セル操作、ファイルの保存と読込) 第7週: 表計算(1)(Excelの関数、図の作成) 第8週: 文書作成(1)(Wordの概要、書式設定の基本、フォント、文字飾り、図等の挿入等) 第9週: プレゼンテーション(1)(PowerPointの概要、様々なデザイン、画像の挿入) 第10週: プレゼンテーション(2)(アニメーション、スライドショー、配布資料の作成) 第11週: 情報トピックス(3)(インターネットの活用) 第12週: 情報トピックス(4)(わたし達が生きる情報社会) 第13週: 情報トピックス(5)(情報やメディアに関する技術) 第14週: 情報トピックス(6)(ハードウェアに関わる技術) 第15週: 情報トピックス(7)(ソフトウェアに関わる技術)			
【授業および学習の方法】 第1-5週: 身近なネットワークを利用して、ネットワーク技術について理解を深める。 第6-10週: Excel、Word、PowerPointの様々な機能を活用して、レポート作成に役立てる。 第11-15週: 情報社会、ハードウェアの仕組みなどを理解し、IT技術を正しく理解する。			
教科書・参考書等 キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2019 e-Learning版、久野靖・佐藤義弘・辰己丈夫・中野由章監修、日経BP社、2019、(https://moodle.itc.kagawa-u.ac.jp/) (香川大学 Moodle、カテゴリ: 「2019年度コンテンツ」- 「その他」、コース名: 「キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2019 e-Learning版」) 製本版もあります。ISBN: 978-4-8222-9234-8、1,404円(税込)。			

オフィスアワー 電子メールで質問内容（大まかでよい）と希望日時（いくつかの候補）を知らせて下さい。折り返し対応できる日時を連絡します。担当教員のうち3名の研究室の所在は以下のとおりです。

石塚 正秀：創造工学部2号館5階（南）

玉置 哲也：創造工学部2号館3階（北）

荒木 裕行：創造工学部2号館3階（北）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

種々の講義、実験、演習、実習をはじめ卒業研究に至るまで、本授業で得られた知識・技術は様々な局面で係わる。演習を取り入れた授業である点に留意し、欠席・遅刻することなく積極的に授業に参加することを望む。授業には、事前に指定するスペックをもつノートパソコン、AC電源アダプタ、LANケーブル、マウスを必携のこと。その他、授業に必要な解説書等も指示に応じて持参すること。

つぎのHPより、授業の理解を深めるようにしてください。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 082503) 情報リテラシーT(3) Information Literacy 情報リテラシー Information Literacy	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期水4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 八重樫 理人, 高木 智彦, 米谷 雄介	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 (講義30分 + 演習60分) × 15回 + 自学自習			
授業の概要 パーソナルコンピュータ (PC) を活用して情報を収集・発信したり、様々な文書を作成したりする方法について基本的な演習を行う。まず、各自が所有するノート型PCとWindows環境を前提に、香川大学のネットワーク環境や教育環境を解説し、円滑な講義や演習を可能にする。次に、ワードプロセッサや表計算、プレゼンテーションのソフトウェアなどが利用できることを確認する。さらにWebページの作成方法について学習し、情報リテラシー能力の高度化を図る。			
授業の目的 現在、コンピュータやネットワークは、社会の基盤として活用されている。すなわち、簡単な文書作成だけでなく、いろいろな設計情報やデータの整理、報告書の作成をコンピュータで行っている。また、メールやメッセージャー、Webシステムによって人との間のコミュニケーションに用いられている。本授業では、これらの基礎的な知識や利用方法を習得することを目指す。(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」(幅広いコミュニケーション能力) に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
(1) パーソナルコンピュータのネットワーク接続ができる。 (2) Webや電子メール、ファイル共有などを用いた情報交換ができる。 (3) ワードプロセッサや表計算のソフトウェアを用いて文書を作成できる。 (4) プレゼンテーションソフトウェアを用いて資料を作成できる。			G-1, J-1
成績評価の方法と基準 情報環境に関する知識やその利用法の体得状況などについて、演習課題によって評価する。無断欠席や演習課題の未提出があれば基本的に評価されないので、注意して授業に望むこと。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業の方法】 各自のノートPCを利用した演習を含む講義を行う。			
【授業計画】 第1回: 授業概要を理解する。そしてパーソナルコンピュータをネットワークに接続し、香川大学の環境に合わせて基本的な設定を行う。 第2回: 香川大学のインターネット環境および情報セキュリティポリシーを理解した上で、電子メールや各種サーバの基本的な利用方法について学習する。 第3回: ノートPCの様々な基本的操作を体験し理解する。 第4回: 一般的な用語や概念を理解する。 第5回: プレゼンテーションソフトウェアの基本的な使用方法を理解する。 第6回: プレゼンテーションソフトウェアで簡単な図や発表資料を作成する方法を理解する。 第7回: 表計算ソフトウェアでの簡単な表の作成方法を理解する。 第8回: 表計算ソフトウェアの基本的な関数の使用方法を理解する。 第9回: 表計算ソフトウェアでの簡単なデータベースやグラフの作成方法を理解する。 第10回: レポートとして書くべき内容の概要を理解する。 第11回: ワードプロセッサソフトウェアの基本的な使用方法を理解し、簡単な表、グラフ、図などを統合した文書を作成する。 第12回: Webの仕組みの概要を理解する。 第13回: HTMLを用いた簡単なWebページを作成する。 第14回: HTMLとCSSを用いた簡単なWebページを作成する。 第15回: まとめ			
【自学自習に関するアドバイス】 タッチタイピングの練習をすること。以下に示すキーワードについて調べること。 第2回: 情報セキュリティポリシー、電子メール、FTP、ファイル共有 第3～4回: CPU、メモリ、文字コード、フォルダ、ファイル、パス、DOSコマンドプロンプト、エディタ 第5～6回: プレゼンテーションソフトウェア、図形、アニメーション 第7～9回: 表計算ソフトウェア、関数、グラフ 第10～11回: ワードプロセッサソフトウェア、レポート作成、文書の統合			

第12～14回：Webサーバ、ブラウザ、HTML、CSS

教科書・参考書等

【教科書】富士通エフ・オー・エム、"情報リテラシー 総合編 Windows 10・Office 2016対応"、FOM出版

【参考書(購入の義務はありません)】久野靖, 佐藤義弘, 辰己丈夫, 中野由章監修:キーワードで学ぶ最新情報情報トピックス2017, 日経BP社(2017) 1,296円(税込み) ISBN:978-4-8222-92221-8

オフィスアワー 水曜日18時から20時、林町キャンパス1号館10階11012研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

ノートPCやLANケーブルなど、演習に必要な機器は忘れず持参すること。無断欠席や演習課題の未提出は成績評価に赤信号となる。やむをえず欠席する場合は必ず連絡すること。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 082504) 情報リテラシーT(4) Information Literacy 情報リテラシー Information Literacy	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 佐藤 敬子	関連授業科目 プログラミング		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習(課題作成)			
授業の概要 コンピュータを最大限に利用するために必要な基本的な事項, 知識, 技能を身につけるための講義を行う。具体的には, パソコンの基本知識, 基本操作, インターネットへの接続方法に始まり, 基本的な文書作成, 表計算, プレゼンテーションの技術, さらに, ネットワーク社会でのルールやマナーを身につけるための講義をおこなう。工学部の学生として, 大学での学びに必要なコンピュータ活用能力と情報活用能力を身につけるための必修科目である。			
授業の目的 パソコンの基本操作, インターネット接続や電子メールの設定と利用方法, 文書作成, データ処理や図表の作成, プレゼンテーション資料の作成といったパソコンを活用するための基本技術を習得する。また, インターネット社会におけるルールとマナー, セキュリティについて理解することで, 情報の適正な選択, 利用のための基礎的な技能を習得する。(共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」(幅広いコミュニケーション能力)に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. パソコンの構成を理解し, 基本的な操作ができる。 2. インターネットの概要を理解し, インターネットやメールへの接続と操作ができる。 3. パソコンやインターネットを利用するうえで必要なセキュリティとマナーを理解する。 4. インターネットを利用した情報収集方法と活用方法について理解する。 5. Microsoft Wordを使って図表を含めたレイアウトされた文書を作成できる 6. Microsoft Excelを使って基本的なデータ処理と図表の作成ができる。 7. Microsoft PowerPointを使ってプレゼンテーション資料の作成ができる。			
成績評価の方法と基準 授業内で行う小テスト40%, 及び課題60%により評価を行う。これらの総合評価により, 60%以上を合格とする。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業の方法】 工学部の学生が各自所有するパソコンを用いて, 講義と演習を組み合わせで行う。			
【授業計画】 第1週: ガイダンス, パソコンの準備(1) 第2週: パソコンの準備(2) 第3週: パソコンの基本知識と操作, インターネットとメールの利用 第4週: Word(1) 基本操作 第5週: Excel(1) 基本操作 第6週: ネットワークの知識 第7週: 情報倫理とセキュリティ対策 第8週: 情報検索とその活用 第9週: Word(2) 文書の作成 第10週: Excel(2) 関数の利用, データの集計 第11週: Excel(3) 図表作成の基礎 第12週: Excel(3) 図表作成の応用 第13週: WordとExcelを使ったレポートの作成 第14週: PowerPoint 基本操作とプレゼンテーション資料の作成 第15週: 総合演習			
【自学自習に関するアドバイス・復習事項】 第1～2週: 自分のパソコンの起動と終了 第3週: 自分のパソコンの構成, 学内外におけるインターネットの接続, メール利用 第4週: Wordの基本操作 第5週: Excelの基本操作 第6週: 自分が利用しているネットワーク 第7週: 自分のパソコンのセキュリティ, タッチタイプの練習 第8週: 著作権, 論文の収集 第9週: Word文書の作成 第10～12週: Excelを使ったデータ処理と図表の作成 第13週: WordとExcelを使ったレポートの作成			

第14週：PowerPointを使ったプレゼンテーション資料の作成

教科書・参考書等

教科書は使用せずプリントを配布する。購入の義務はないが以下を参考書として指定する。

久野靖，佐藤義弘，辰己丈夫，中野由章監修：キーワードで学ぶ最新情報情報トピックス2018，日経BP社，1200円

オフィスアワー 時間：水曜日17:50～19:00，場所：1号館4F-14（事前にメール等で連絡のこと）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

実習が中心の授業となるので，各自ノートパソコン及びLANケーブルを毎回必ず持参すること。毎回出席をとる。遅刻や無断欠席は評価対象としないので注意すること。

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード：082505) 情報リテラシーT(5) Information Literacy プログラミングⅠ Programming Ⅰ	科目区分 情報リテラシー	時間割 前期水2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B1INF	DP・提供部局 acdG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 磯田 恭佑	関連授業科目	プログラミングⅡ (材料) 11T以前対象	
	履修推奨科目		
学習時間 (授業90分 + 自学自習・課題作成) × 15回			
授業の概要 今日、コンピュータは日常生活において必要不可欠なツールとなっている。工学部の学生が所有するPCを使って、座学・演習を組み合わせた授業を行う。インターネットや電子メール等のネットワークの取り扱いとセキュリティ、情報収集及び適切な判断を行うための知識・技能の修得を目指す(DPの「知識・理解」「倫理観・社会的責任」に対応)。さらにコンピュータアプリケーションを利用した文書作成や資料作成、プレゼンテーション技術の習得を目指す(DPの「言語運用能力」に対応)。また、表計算ソフトを用いたデータ処理、グラフ作成、数値的シミュレーションの演習を行う。			
授業の目的 この授業ではPCの基本操作の修得と共に、インターネットや電子メール等のネットワークの仕組みと設定法、コンピュータアプリケーションを利用した文書作成や資料作成、プレゼンテーション技術の習得を目指す。また、表計算ソフトを用いたデータ処理、数値的シミュレーションの演習を行い、コンピュータを活用できる素地を養う。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 文字入力やファイル操作などPCの基本操作ができる。 2. インターネットの仕組みを理解し、インターネットや電子メールの接続、操作ができる。 3. セキュリティとネチケット(ネットワークのマナー)についての知識を身につける。 4. Microsoft Wordを使って表組みや図、数式などを挿入した基本的な文書を作成できる。 5. Microsoft Excelを使ってデータ処理やグラフの作成、簡単な数値シミュレーションを行うことができる。 6. Microsoft PowerPointを使って資料作成、プレゼンテーションを行うことができる。 7. インターネットを活用した情報検索とその結果に対する適切な判断ができる。			(E) コミュニケーション能力
成績評価の方法と基準 授業で指示する課題で評価する。期末試験は行わない。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業計画】 第1週：持込PCとMicrosoft Officeのセットアップ 第2週：インターネットとメールのセットアップ 第3週：セキュリティとネチケット 第4週：コンピュータとネットワークの基礎知識 第5週：ファイル操作、タッチタイプの練習 第6週：文書作成(1) 文字修飾、段落設定、表の挿入 第7週：文書作成(2) 図の挿入、ベクトル図とビットマップ図 第8週：文書作成(3) 図形描画、数式の挿入 第9週：表計算(1) Excelの基礎、関数の利用 第10週：表計算(2) オートフィル、相対参照と絶対参照 第11週：表計算(3) 関数のグラフ化、散布図、数値計算 第12週：プレゼンテーション(1) PowerPointの基礎 第13週：プレゼンテーション(2) インターネット検索による資料収集 第14週：フリーソフトのススメ(1) 第15週：フリーソフトのススメ(2)			
【自学自習・課題】 第1週：復習→持込PC起動と終了 第2週：復習→メールの送信、無線LANの仕組み 第3週：予習→ファイル共有ソフトとは何か？香川大学での禁止事項 復習→学外におけるインターネット接続方法 第4週：復習→コンピュータの仕組み、インターネットにおけるプロトコルの理解 第5週：予習→持込PCのフォルダの構造 復習→タッチタイプの練習 第6週：復習→成形文書の作成 第7週：復習→ベクトル図の作成 第8週：復習→数式の作成 第9～11週：復習→Excelを使った課題			

第12-13週：復習→PowerPoint書類の作成、インターネットを用いた情報収集と発表資料作成
第14-15週：復習→フリーソフトによる課題作成

教科書・参考書等

授業資料はプリントを配布する。なお、購入の義務はありませんが以下を参考書として指定します。

久野靖, 佐藤義弘, 辰己丈夫, 中野由章監修: キーワードで学ぶ最新情報情報トピックス2017, 日経BP社(2017)
1,296円(税込み) ISBN: 978-4-8222-92221-8

オフィスアワー 水曜日 12:00-13:00 (居室) あるいはe-mailで受け付ける。e-mailは授業にて連絡する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

遅刻をしない、PC・LANケーブル必携、ノートを取る

ナンバリングコード B1INF-acdG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード：082601) 情報リテラシーA Information Literacy 情報リテラシー An introduction to information literacy	科目区分 情報リテラシー 水準・分野 B1INF 授業形態 Lx	時間割 前期水1 DP・提供部局 acdG 単位数 2	対象年次及び学科 1～全学共通科目 対象学生・特定プログラムとの対応 10
担当教員名 櫻庭 春彦, 田中 直孝	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 コンピュータは、勉強にも生活にも必要不可欠になってきています。この教科では、コンピュータの基本的な概念や使用方法を解説するとともに、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析する方法、それらをモラルに則って活用する方法を講義します。			
授業の目的 1 ネットワークの脅威と基本的な対策を理解する。 2 インターネットや大学の共同利用パソコンを利用する際のルールとマナーを理解する。 3 図書館利用のマナーを理解し、図書館所蔵の図書・雑誌の検索法を知る。 4 パソコンの基本的な操作法を理解する。 5 ウェブブラウザの機能を理解する。 6 インターネット上の情報を検索する手段を理解する。 7 メール機能・使用法・マナーを理解する。 8 ワードプロソフトの利用法を知る。 9 表計算ソフトの利用法を知る。 10 プレゼンテーションソフトの利用法を知る。 1-10を通して情報伝達に関わる問題を理解するとともに、情報の適正な選択、利用のための基礎的な技能を習得する（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」（幅広いコミュニケーション能力）に対応） (DPの「言語運用能力および問題解決・課題探求能力」「倫理観・社会的責任」に対応)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 ネットワークの脅威に対する基本的な対策を実行できる。 2 ルールとマナーに従い、インターネットや大学の共同利用パソコンを利用できる。 3 図書館利用のマナーに従い、図書館所蔵の図書・雑誌を検索できる。 4 パソコンを効率的に操作できる。 5 ウェブブラウザで各種のネットワークサービスを利用できる。 6 様々なインターネット上の情報を検索できる。 7 メール設定と送受信ができる。 8 ワードプロソフトを利用して、図や表を含めてレイアウトされた文書を作成できる。 9 表計算ソフトを利用して、基本的な集計とグラフの作成ができる。 10 プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや配布資料を作成できる。			
成績評価の方法と基準 毎回のレポート課題による総合判定			
授業計画並びに授業及び学習の方法 (1) 情報倫理・セキュリティ (2) 図書館の利用法・情報検索・文献検索 (3) コンピュータとネットワークの基礎1 (4) コンピュータとネットワークの基礎2 (5) 電子メールの利用法 (6) Wordを使った文書作成1 (7) Wordを使った文書作成2 (8) Wordを使った文書作成3 (9) PowerPointを使ったプレゼンテーション1 (10) PowerPointを使ったプレゼンテーション2 (11) PowerPointを使ったプレゼンテーション3 (12) Excelを使った表計算とグラフ作成1 (13) Excelを使った表計算とグラフ作成2 (14) Excelを使った表計算とグラフ作成3 (15) まとめ 各自持参したノートPCで実習しながらの授業を行う。毎回授業に出席して良く聞き、学んだことを勉強や生活で積極的に使うこと。			

【自学自習に関するアドバイス】

教科書を使った授業（6～14）では、授業内容を次週までに復習しておくこと。
授業が始まるまでに序章を予習しておくこと。

教科書・参考書等

教科書：30時間アカデミック 情報リテラシーOffice2016，実教出版，本体1300円

（決定しだい掲示通知します。）

参考書：購入の義務はありませんが以下を参考書として指定します。

- 1) 大学新入生のための情報リテラシー，学術図書出版（2014年），本体1800円
- 2) 情報トピックス2017，ISBN：978-4-8222-92221-8，定価：1,200円，日経BP社

オフィスアワー 水曜日17:00-18:00

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

1. (5)～(14)回目の授業では各自が持参したPCを使用するので，指定したスペックを満たすパソコンを用意しておくこと。
2. (6)～(14)回目授業は3クラスに分かれて実習を行う．クラスによっては学習する順序が上記とは異なる（例：Excel→Word→PowerPointの順序になるクラスもある）。